

くどう さとし
工藤 智司

コミュニケーションについて

●基幹労連・事務局長

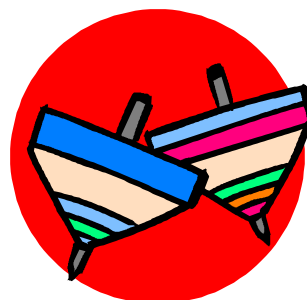
宇宙が生まれて150億年、地球が生まれて46億年だそうです。人類の誕生は20万年前。宇宙が生まれてこれまでの150億年を1日24時間と仮定すると、人類の誕生は次の日の午前零時前3.76秒だそうです。悠久の時の流れの中に我々はいる。また時は未来へと続く時の中で、我々は過ごしている。

1,000年前の自分のご先祖様が何人いるのか考えてみました。私には両親がいて、さらに祖父・祖母がいて……。たとえば30年を一つの単位として代が変わると仮定すると1,000年の間に33回代が変わる。要するに $2 \times 2 \times 2 \times \dots$ を33回すなわち2の33乗すると答えがでる。答えは8,589,934,592となる。85億！これはすごい！1千年前の日本の人口は約1,000万人ほどと言われているので凄まじい。というか、どう考えてもおかしい。いろいろ考えたがおそらく混じり合っているんだと思う。たぶん職場の中の大多数の人とどこかの時代でご先祖様は同じなんだろう。

また宇宙の大きさは100億光年だという。私には到底大きさが理解できない。また、その外側がどうなっているのかを考える事も出来ない。太陽系の大きさも半径が約1光年だそうです。太陽から一番近い恒星はアルファケンタウリと言うそうで、距離は4.4光年離れています。広すぎて想像すらできない。

この悠久の時の中にある時間軸と極めて広い空間の中で、我々は出会い暮らしている。我々が話を出来る人たちは時間軸で見るとプラスマイナス100年の範囲の人たちだろう（当然その方の年齢にもよるが）。すこし早く生まれていても、少し遅く生まれていても、となりの人と会話が出来たかどうかわからない。戦国の世に生まれていたら、弥生時代に生まれていたら、日本以外であつたら間違いなく話は出来なかった。また我々の多くは血が繋がっている。

話はそれるが、それを考えると「文字」は素晴らしい。過去に書かれた文献を読む事で、



その時に考えていた事を読み解く事が出来る。読解力があればピタゴラスやニュートンなどと会話する事も出来る。

話を戻そう。もっと腹を割って話をした方が良いのではないだろうか？もっと親兄弟と同じように接する事が出来るのではないだろうか？もっと認める事が出来るのではないだろうか？今、職場の中を含め、コミュニケーションが一つの問題となっています。メールや各種会議など色々なコミュニケーションの手段があります。おそらく時代とともにコミュニケーションの方法は変化していくだろうし、いつの時代になっても問題の一つになると思う。家族間でもそうだし職場の中でも同じだろう。もっと腹を割って話が出来るとはならないか？時間的にも空間的にも奇跡的な出会いをしている、同じ時間帯を過ごしている我々は人類と言う共同体としてもっとコミュニケーションをよくお互いを理解できるのではないだろうか。ポイントは相手の事を思う心だと思う。

一方で、やはり声を出さなければ伝わらないのも事実。「賢者の贈り物」という物語があります。素晴らしい物語です。概要は以下の通りです。

ジムとデラという貧しい夫婦がいました。クリスマスが近いのに二人の家にはプレゼントを買えるお金がありませんでした。

デラは床屋に行き、自慢の髪を切って売り、そのお金でジムが大切にしている金時計に付ける鎖を買いました。

一方のジムはデラの為に大切にしていた金時計を売り、デラの長い髪に合う髪飾りを買いました。お互いがお互いの為に最も大切にしていたものを売り、さらに相手の事を考えて買ったプレゼントです。涙が出るほど素晴らしい物語です。

愛する二人の間でもそうですが、見つめ合っているだけで心が通じるわけではありません。「何か欲しいものある？」と一言いえば全て丸く収まるのではないのでしょうか。